

施策評価管理シート

施策体系	政 策	3	活力に満ちて暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	1	地域産業の振興	担当部局名	部局長名
	施 策	3	観光交流	産業部	杉本 一徳

1. 施策の基本方針 Plan

○ 観光戦略に基づき、着地型・体験型の観光など多様化するニーズに対応するとともに、広域的観光関連事業等により、外国人を含む幅広い観光客に対応することで、持続可能な観光振興、地域経済の活性化を図ります。

2. 現状と課題 Plan

○ 「とれたて名張交流館」などの新たな観光・交流施設が入込客数を伸ばしています。他方で、市内の観光をけん引してきた赤目四十八滝の入込客数は、平成4年の約34万4千人をピークに、平成25年には約16万4千人へと半減するなど、従来の主要観光地では、観光ニーズの多様化への対応の遅れが要因となり、入込客が減少あるいは横ばいの傾向にあります。そのことから、総合的展望に立った戦略のもと、観光振興を図っていく必要があります。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
名張市の物産や観光地、歴史や文化で、誇れるまたは紹介したいものがあると思う市民の割合（％）	目標	-	-	-	60.0	0.0%
	成果	55.2	50.8			
観光レクリエーション入込客数（千人【延べ数】）	目標	-	-	-	7,500	39.3%
	成果	1,125	3,633			
赤目四十八滝渓谷を訪れた外国人の数（人【延べ数】）	目標	-	-	-	10,000	79.6%
	成果	1,780	8,324			

3. 課題解決への取組内容（平成28年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズムの推進に加え、庁内横断組織であるニューツーリズム創出プロジェクトを活用し、アグリツーリズム、ヘルスツーリズム、スポーツツーリズム等の体験型ニューツーリズムの充実を図ります。 ・広域観光において、東海地区外国人観光客誘致促進協議会や日本忍者協議会に新たに参加し、より広域での連携を進めるとともに、東大和西三重観光連盟において、観光誘客の取組を進めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元事業者及び高校・大学等と連携し、旅行企画コンテスト及びモニターツアーを実施した他、歴史街道倶楽部主催の「歴史のまちウォーク」を名張市観光協会等と共催するなど、旅行商品の造成と観光客の誘致を進めました。 ・平成27年度に整備したトレッキングルート、修験の道「長坂山ルート」について、登山専門誌「山と渓谷社」にWEBページで特集を掲載いただくなど、積極的な情報発信を行い、多くのハイカーに登山いただきました。 ・旅行業経験者及び外国人（外国語指導助手経験者）を職員として雇用し、観光資源の調査と情報発信に努めました。そして、平成29年3月に、名張市と奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村による広域連携DMO「東奈良名張ツーリズム・マーケティング」を設立し、誘客に向けた体制整備を行いました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

・名張市観光協会の改革プランの策定を受け、名張市観光戦略の検証、見直しを行うとともに、関係団体との適切な機能分担を図る必要があります。

・エコツーリズムを始めとするニューツーリズムの推進に当たり、将来的な移住定住まで視野に入れた地域の魅力発信に努めていく必要があります。

・外国人誘客を進めるにあたり、専門人材の確保、育成に努めるとともに、市境、県境を越えた広域観光連携のための日本版DMO法人の設立に向けた取組を進める必要があります。

・赤目キャンプ場をはじめ、所管する観光関連施設について、施設の必要性を客観的に判断し、必要な施設は年次的に整備、改修を進めるとともに、必要性の薄い施設は廃止する等の取り組みが必要です。

5. 課題解決への取組内容（平成29年度） Action

- ・名張市観光協会と連携し、名張市観光戦略の検証、見直しを進めていきます。
- ・エコツーリズムを始めとするニューツーリズムの実施に当たり、地域の魅力発信や移住定住を意識した事業展開に努めます。
- ・東奈良名張ツーリズム・マーケティングの事業充実に努めるとともに、日本版DMO法人の登録に向けた検討を進めます。
- ・赤目キャンプ場の民間団体への移管に向けた取組を継続するとともに、今後の観光施設の在り方について、検討を進めます。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

情報発信、ニューツーリズムの推進、さらには外国人誘客を進めることで、交流人口が増加するよう取組を進めること。